

クラブ奉仕委員会

《親睦委員会、S.A.A 委員会、公共イメージ委員会、
研修・プログラム委員会、出席(奨励)委員会》

親睦委員会

委員長	馬見塚 潔
副委員長	伊熊 俊雄
委員	坂本 芳彦
委員	山本 武司
委員	有川 寿夫
委員	原田 修吾
委員	古瀬 和雄
委員	佐野 武久
委員	高原 一郎
委員	森安 紀雄
委員	高見澤幸也

友情と親睦を深め、全員が楽しく参加できる活動を計画して行く。
合同例会などで他クラブとの交流により幅広く親睦を深めて行く。
また、広く会員以外の方が出席しやすいイベントにし会員増強の一助になればと考えます。

主な年間スケジュール予定

- 四五行事（ 8 月 ）合同夜間納涼例会
- （ 10 月 ）職業奉仕委員会との合同事業
- （ 12 月 ）クリスマス夜間例会
- （ 4 月 ）観桜夜間例会

その他行事

- （適宜）他クラブとの合同例会
- （月 1 回）夜間例会
- （適宜）イーストパー（単独開催及び他クラブ合同開催）

S.A.A 委員会(会場監督) Sergeant at Arms

委員長	戸塚	万	豈
副委員長	小嶺	和	昭
委員	馬場	れい	子
委員	加藤		登
委員	菅原		孝
委員	木下		政昭
委員	高原		一郎
委員	森安		紀雄
委員	高見澤		幸也

会場監督 SAA は「武器を所持した番人」のことをいい、昔英国では国王謁見式の際、この人だけが武器の携行を許され、国王の護衛と謁見場内の秩序維持に当たると云う故事に基づき、ロータリークラブでの例会を始め、総ての会合での秩序維持に関して、絶対の権限を持っております。

任務に当る時には、SAA の襷を掛けクラブ会合の場所の準備を整え、会場の案内を務め、その会合に必要とされるものを予め予想し、手配する様対処致します。

- 1 . SAA 委員はその職責について、十分な理解をし、委員が一致協力して職務を遂行する。
- 2 . 例会を始め、各種の会合に際しては、会員ゲストが楽しく明るい雰囲気のもとで運営されるよう努める。
- 3 . 出席奨励委員会と連携を密にし、当日出席者数の把握徹底し、食事数や席のレイアウトに無駄の無い様に心掛ける。
- 4 . 会長幹事及び親睦委員会や他委員会との連絡や打合せを密にし、適正な運営に心掛ける。
- 5 . 秩序正しく品位ある、然も楽しく明るい雰囲気のもとで会が運営される様、会場設営をしたい。
- 6 . 夏期にはクールビズを実施し、快適で楽しい、例会場づくりに努める。

公共イメージ委員会

委員長	菅原	孝
副委員長	水長	秀彦
委員	内田	智
委員	佐野	武久
委員	千葉	謙一

第 2750 地区戦略計画の行動指針の 1 つ、「公共イメージを向上維持するために、ロータリアンとして 5 つの中核的価値観を行動の指針とすることを奨励する」を念頭に、「2019～2020 年度のクラブ基本方針」に基づき、公共イメージ委員会としての役割である、会員同士の活動情報の共有、そしてロータリアン以外の人々に活動内容をより知っていただくために活動していきます。

その内容として以下、

東京八王子東ロータリークラブの活動内容周知のため、そして当クラブに興味を持っていただき、惹いては新会員に繋がる新しいパンフレットの作成をする。

周知、新会員増強の可能性に繋がるのであれば、分かりやすいその他媒体の作成をする。その中で、R I が定めるロゴやフォントの色づかい・大きさについて等の決まりを周知徹底する。

活発なクラブ活動を P R しやすくするために、H P をリニューアルする。その中で、会報「ウィークリーレポート」を作成し活発な活動内容報告をする。

当クラブ会員が、クラブ・地区・R I のロータリー情報を積極的に収集発信するために、地区 W e b サイトへの登録をする。

スマートフォンを使った情報共有を推進するために、スマートフォン使用者の R I D 2750 アプリ全員ダウンロードの達成。

上記各項目を達成するために、委員会活動を活性化したく、当委員会の皆様のご協力を頂きたいと思います。そして、この活動が年度クラブ基本方針の達成に繋がることを願います。

研修・プログラム委員会

委員長 佐野 武久
副委員長 近藤 義之
委員 中川 常彦
委員 馬場れい子
委員 松宮 兼房

ロータリーを学び、ロータリーを楽しみ、奉仕事業にチャレンジする。そんな思いを込めて各種プログラム作りに委員会一同力を合わせて活動してまいります。

ロータリアンとしての、幅広いご経験やご交友の中で、興味ある卓話をお願い出来る方々のご紹介をお願いいたしますと共に、皆様のご意見を伺い積極的に企画してまいります。

1. R Iのテーマ、並びに 2019～2020 年度のクラブ基本方針の遂行に役立つプログラム作り
2. R I 特別活動月間（委員会活動）に合わせた、地区役員や関連した卓話プログラム
3. クラブ内会員の卓話
(イ) 例会にならい、クラブ会員それぞれの専門的職業を通じたスピーチ
(ロ) 地区出向委員や（南多摩グループ）I M委員の知り得た情報等の報告を兼ねたスピーチ
4. 他クラブとの合同例会（2回例会）等の場を利用した時間的余裕をもった卓話プログラム
5. クラブ協議会（カバナー公式訪問等）に向けた協議会の企画
6. その他、各種研修事業に係るプログラム
7. 会員の皆様のご意見をお聞きし、新しく興味深い卓話プログラムの立案につとめる

以上、ロータリアンの「いろは」の原点に立ち戻った気持ちで会員の皆様の協力のもと、ロータリー活動（精神）の一助となりますように研修・プログラムの立案遂行に努力いたします。

出席(奨励)委員会

委員長 山本 武司
副委員長 加藤 登
委員 馬見塚 潔
委員 有川 寿夫

出席なくして活動なし

数年前のクラブ会長テーマです。ロータリークラブの目的は、「奉仕」と「親睦」であることは言うまでもありません。本年度のクラブ活動基本方針は奉仕と親睦を確実に且つ徹底的に追及し実施することが求められております。

すべての行事は会員の出席があってはじめて行動に移すことができます。

今年度会長の基本方針に多くの奉仕事業と親睦行事が発表されております。これらを円滑に予定通り実施していくためには会員皆さんの出席が絶対条件となりますので全会員の出席をお願いする次第です。

委員会としての動き

食品ロスをなくすため出欠を事前に把握することが大事です。事前の連絡なくして休会した場合はペナルティーを科し当日分のニコニコを徴収する。(事前連絡なく急遽出席できなくなった場合でもロスした食事代としてニコニコを徴収いたします)

ロータリークラブといえども、ビジネスファーストが絶対ですから、無理な出席を求めるようなことは致しません。欠席が予め判明している場合は早めに連絡を取ることを徹底します。

出席率にこだわることはありませんが、通常例会では80%くらい、行事においては90%~100%を目指します。

毎例会において出席奨励は発信せず、出席の実数報告のみに留め、多言(他言)はしないように務めます。

奨励の具体案として、半期ごとに個々人の出席率を確認し出席数の少ない方に対し、出席率アップのための方策を打ち合わせることも大事なことです。

世界中あらゆる団体、組織において毎週会合を持つ仲間はロータリークラブ以外に見つかりません。これほど強い絆で結ばれているのだと云う事実を肌を感じ、出席してロータリーライフを大いに楽しみましょう。

奉仕プログラム委員会

《職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会、新世代奉仕委員会》

職業奉仕委員会

委員長 近藤 義之
副委員長 松宮 兼房
委員 小泉 俊男
委員 原田 修吾

さまざまな職種の異業種の会員が集うロータリーの「職業奉仕」は、会員が各自の職業を通じて実践する社会貢献を意味します。互いの職業や職業に取り組む姿勢を深く理解しあう事で各自の職業の価値を高める事は、異業種の職業人が集まるロータリーの醍醐味であるとも言えます。

今年度は、会員のスピーチに職業奉仕に関するテーマを取り入れたいと考えています。職業を通じての社会貢献の事例や、職業や業界の紹介をお願いいたします。

また、親睦委員会などの関連する委員会と調整しながら、親睦旅行とコラボして興味深い事業所の見学研修を企画致します。

社会奉仕委員会

委員長	坂本	芳彦
副委員長	小嶺	和昭
委員	佐藤	武文
委員	水長	秀彦

地域社会のニーズに今年もしっかりと目を向けて、新たな気持ちで奉仕活動を行っていきます。

1. 活動計画を進めていくにあたり、クラブ会員、その他地域のニーズや要望の情報交換や収集を昨年に増して門戸を広げて企画したい
2. それぞれの会員が職業経験を生かした奉仕活動とし、極力、全会員が汗をかく活動を目指したい

活動計画

- (1)「東放射線アイロードの街路灯植込みを花で飾ろう」の参加型奉仕活動の継続
- (2)「貧困の連鎖」に目を向けた、八王子つばめ塾や子供食堂運営グループへの協力（フードドライブ等）や体験奉仕活動等
- (3)恵まれない子供達との心のつながりを求めて...(東京ディズニーランドへの招待と交流)
- (4)最近ゴミ（プラスチック廃材）等の処理問題が社会問題化しています
ポイ捨て防止から始まる色々な対策パターンをクラブで行えないか、企画を募りたい
- (5)クラブの目の前に求められている地域奉仕を見落としとしてはいないか
会員、友人・知人の提起を募る(限りあるクラブ活動の中で真に必要な奉仕を見極めチャレンジしたい)

国際奉仕委員会

委員長 橋本 幸一
副委員長 馬場れい子
委員 古瀬 和雄
委員 木下 政昭

当クラブは、地区補助金（DG）財団補助金（GG）を利用し、国際奉仕事業としてタイにおける公立学校でのトイレのイノベーション、カンボジアにおける教師派遣など、教育に関わる支援事業を行ってきております。昨年度も東京世田谷ロータリークラブと協力してタイ北部コンケン及びウドンタニ地区で約10校のイノベーションを行い、そして地区の20クラブと協力して、プノンペン他3校の教員養成学校に教師を派遣しました。

これら教育に関わる事業は継続性が重要ですので、今年度もこれらの事業に積極的に参加する予定です。

これらの事業はロータリークラブが世界的な組織であり、世界中より情報、現地の協力を得ることが出来るから成し得るものです。これらの事業に参加することは、ロータリアンであることの意義でもあります。お忙しいとは存じますが、是非一度は現地を訪れ我々のクラブの行っている国際奉仕事業を体験することをお勧めします。

新世代奉仕委員会

委員長 加藤 登
副委員長 佐藤 武文
委員 馬見塚 潔

次世代を担う子供たちは多様な価値観の社会で、益々AI 技術が台頭し、一時代前の技では特殊技能と扱われないような厳しい時代に直面していきます。

このような未曾有な将来への適応力を培い、そして、広く他の生命体を尊重し、共存共栄できる心を培養していくような教育環境、社会環境が必要と思われれます。

積極的に地域活動に参加し、社会奉仕の意義と喜びを分かち合う機会を増やしていく事も大切ですし、委員会としてどのような取り組みが出来るか考えていきたいと思ひます。

貧困の連鎖研究委員会と連携し、教育の底辺の底上げを進める事や各分野のベテラン経験者などの体験談卓話、技術承継の機会の提供などにも参画出来れば良いと考えます。

従前より行っている花植えの活動などは、この目的にかなう活動ですので、ぜひ継続し皆さんに参加していただきたいと考えます。

ロータリー財団委員会

委員長 小泉 俊男
副委員長 馬場れい子
委員 戸塚 万豈

ロータリークラブでは、世界で良いことをするために、多くのプログラムが開始され、各地で財団の資金を使って奉仕活動が行われています。

世界中のまだ手を差し伸べていかなければならない人々へ沢山の温かい援助をしています。

これからも世界で良いことをするための活動の原資となる次のロータリー財団への寄付

年次基金（ポール・ハリス・フェロー）

恒久基金（ベネファクター）

使途指定寄付（ポリオプラスへの寄付等）

に出来る限り協力していきたいと思います。

また、11月のロータリー財団月間には、地区委員会による財団に関する卓話を計画します。

米山記念奨学委員会

委員長 内田 智
副委員長 中川 常彦
委員 伊熊 俊雄

米山記念事業は、ロータリーの誇るべき国際奉仕活動です。

1954年に初めて米山奨学生を受け入れて以来、19000人以上が母国や日本で活躍しており、アジアを中心とした国際親交や日本の評価向上に大きな貢献を果たしています。本年度はその実績や価値を再認識する意味合いを込め、卓話の実施も考えております。

米山普通寄付金と米山特別寄付金については、前年同額以上の達成を目指していますので会員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

会員増強特別委員会

委員長 佐藤 武文
副委員長 山本 武司
委員 以下全会員
(4グループにて増強活動)

今年度、平塚会長のテーマは「会員増強」を主張しています。

我がクラブの会員数が他クラブよりも低迷しているとはいえ、ここ数年僅かではありますが、順調に増強が推移されています。

しかしながら、ロータリー活動を通常に行うには、予算上会員数が40～50名必要であることから、今年度、平塚会長は8名の会員増強を掲げ、40周年に向けての弾みをつけたい思いがあります。

具体的には、

会員増強特別委員会にて各グループ2名以上の増強目標とする。

東京八王子東ロータリークラブの新しいパンフレットを作成する。

HP等をリニューアルし、活発なクラブ活動のPRの促進。

夜間例会を増やし、会員増強を図る。(月の第1例会を夜間例会に変更)

入会候補者への夜間例会へのご招待等。

目標は可能な限り高く掲げ、それに向け会員一同が団結し、より良いロータリー活動が行えるよう皆様のご協力をお願いいたします。

以上

貧困の連鎖研究委員会

委員長 橋本 幸一
副委員長 木下 政昭

昨年度は当クラブでの貧困の連鎖への取組として、7月には八王子で主に貧困家庭の主に高校受験を支援する無料学習塾「つばめ塾」を主催されている小宮氏をお招きしての講演会も開催し、そして11月には東京飛火野ロータリークラブとの合同例会において、東京八王子南ロータリークラブの神山幹事様にお話しを伺うとともにフードドライブを実施し、48kgもの食材を集めることができました。

更に今年5月30日には、東京八王子ロータリークラブとの合同例会に、子ども食堂を起し運営されている昭島中央ロータリークラブの佐々木会長において頂き子ども食堂についてスピーチを頂き、併せてフードドライブ(111kg)を実施しました。

又昨年8月には納涼例会も兼ねて盆踊りに参加し、12月にはクリスマスプレゼントを贈りもちつき大会に参加と、高尾にある児童養護施設エス・オー・エスこどもの村との交流も行いました。

そして地区の有志により一昨年発足した貧困の連鎖研究会に参加するとともに、同研究会により今年5月NPO法人「子どもへの学習支援基金」が創設されたので、当クラブとしてこれに賛同するに至っています。

昨年度は以上のとおり子どもの貧困の連鎖に関わる活動をしてきました。

今年度もこれらの活動をより充実させ、又前記NPO法人の支援などもする予定です。これらを行うには、何よりも会員各位のご理解ご協力が必要です。一層のご支援ご参加をお願いします。